



丹波篠山から 世界に羽ばたけ!

丹波篠山発! 桶ッ卓球

今から、9年前。ここ丹波篠山から、新しいスポーツが産声をあげました。その名は「桶ッ卓球」。子どもから高齢者までだれもが気軽に楽しめるスポーツです。このスポーツの魅力にはまった方たちによって、普及活動が行われ、徐々に地名度をあげてきました。そしてついに、桶ッ卓球世界大会がここ丹波篠山で開催されることになりました。

今回は、市内で活動する2つのサークル取材しましたので、お知らせします。



桶ッ卓球の基本ルール

- ・2人1組のダブルス競技
- ・桶は必ず両手で持つ
- ・サーブは1人1本ずつの2本で、相手側にサーブが交代
- ・サーブ時には「ア〜ユー・オーケー?」「オーケー!」と声を掛け合いサーブをする
- ・ワンバウンドさせて、相手コートにボールを返す
- ・桶ネットで打球が桶の中で静止したら「オケッ!」と申告すればノーカウント



桶ッ卓球を知る

桶ッ卓球とは、風呂桶を並べてつくる「桶ネット」で仕切られた卓球台で、風呂桶をラケット代わりにして2人1組でプレーするユニークなスポーツです。平成22年にこんだ薬師温泉で、全国初となる「全国桶ッ卓球大会」が開かれました。以降、毎年2月上旬に全国大会が開催され、今年度で第8回目を迎えます。

基本的なルールは卓球と同じですが、サーブ時はペア同士で「ア〜湯(YOU)・オーケー(桶)」「オーケー(OK)」と声を掛け合うなど、独自のルールも定められています。

世代を超えて楽しもう

桶闘卓球推進育成プロジェクトチーム(道)

市内には、桶ッ卓球を楽しもうと活動されているチームがあります。そのひとつが、月2回から3回、土曜日を中心に丹波篠山総合スポーツセンターで活動されている桶闘卓球推進育成プロジェクトチーム「道」(上村信博代表)です。小学1年生から82歳まで約70人のメンバーで構成され、世代を越えて「勝つこと・楽しむこと」を両立させようと取り組まれています。

上村代表は活動のきっかけをうかがうと、「全国大会に出場した際、自分たちよりも年配の方に、打ちのめされ、負けた悔しさと同時にその楽しさに魅了され、職場仲間とサークルを立ち上げました」と話されます。

また、小学校の親子活動や企業活動でも楽しんでもらえるよう教室も開かれ、競技の普及も進められています。さらに、「ご当地温泉卓球全国大会」には、マイ桶を持って出場し、桶ッ卓球のアピールもされています。

立ち上げの時からメンバーである西田久美子さんは「チームには20歳と58歳のペアもあり、世代を超えて楽しめます。始めて5年経ちますが全く飽きません」と、その魅力を語ってくれました。

同チームでは、メンバーを募集されています。興味のある方はお問い合わせください(上村090・3894・2395)。

桶ッ卓球チーム「ふらわお桶ッサークル」

毎週水曜日の13時30分から15時30分まで四季の森生涯学習センターで活動されているのが、桶ッ卓球チーム「ふらわお桶ッサークル」(河南文子代表)です。きっかけは、およそ8年前。河南代表が公民館の

初心者のための 桶ッ卓球練習日スケジュール

日	時間
12月22日(日)	13:00 ~ 16:00
12月26日(木)	17:00 ~ 20:00
1月 9日(木)	17:00 ~ 20:00
1月13日(月・祝)	13:00 ~ 16:00
1月16日(木)	17:00 ~ 20:00
1月23日(木)	17:00 ~ 20:00
1月30日(木)	17:00 ~ 20:00
2月 6日(木)	17:00 ~ 20:00
2月13日(木)	17:00 ~ 20:00

※場所はいずれも四季の森生涯学習センター西館です(12月22日のみ四季の森生涯学習センター東館)。
※利用の場合は、中央公民館までお申し込みください。

来たれ! 選手たち 桶ッ卓球世界大会 in丹波篠山

とき 2月15日(土) 9:00 ~ 15:30

ところ 四季の森生涯学習センター 多目的ホール

問い合わせ 中央公民館 ☎594-1180

世界大会に向けて

取材をしてみて、両サークルとも、桶ッ卓球にあふれ、勝つ、楽しむだけでなく、人とのつながりをとても大事にされていると感じました。

私も全国桶ッ卓球大会に出場経験があります。今回の取材を機に、しばらく遠のいていましたが、世界大会出場を視野に入れて、練習に励んでいこうと思います。